

2017年1月17日

文部記者会
科学記者会
気象庁記者クラブ 加盟社各位

第17回世界地震工学会議(17WCEE) 仙台開催決定

南米チリ・サンチャゴで開催された第16回「世界地震工学会議」の総会において、2020年第17回「世界地震工学会議」の開催地が宮城県仙台市に決定しました。

【世界地震工学会議とは】

「世界地震工学会議」は、1956年から4年に1度、世界各地で開催される地震工学分野で最大規模の国際会議です。世界の地震災害の軽減を目指し、耐震・防災技術や社会制度、教育やトレーニングシステムの開発などハードとソフトの両面からの地震防災対策について世界各国の研究者が意見を交わします。

チリで開催された第16回世界地震工学会議(1月9日～13日)において、開催地として立候補していた日本(仙台)・インドネシア(バリ)・ニュージーランド(オークランド)・メキシコ(カンクン)の4都市の中から、投票により日本での開催が決定しました。

日本での開催は1960年(東京・京都)、1988年(東京・京都)に次いで3回目です。日本の地方都市単独での開催は、今回の仙台市が初めてとなります。東日本大震災の経験や教訓に基づき「防災環境都市・仙台」としてのまちづくりを推進している仙台市での開催は、地震災害の軽減に向けて大きく貢献する場となることが期待されます。

【会議概要】

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| (1)日程 | 2020年9月14～18日 |
| (2)開催地 | 宮城県仙台市 |
| (3)参加予定者数 | 約3,000人(海外1,500人、国内1,500人) |
| (4)参加予定国数 | 約80か国 ※国際地震工学会(IAEE)加盟国58か国を含む |
| (5)主催団体 | 公益社団法人日本地震工学会(会長:目黒公郎東京大学教授) |

【招致活動の経緯】

- 日本地震工学会は、観光庁、仙台市との連携のもと招致活動を展開してきました。内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣(防災)、文部科学大臣、復興庁長官、国土交通大臣、観光庁長官、仙台市長、JNTO(日本政府観光局)理事長名の招請状を国際地震工学会に提出しました。
- 第16回世界地震工学会議の会場では日本ブースを設け、会議参加者に対し招致活動を展開。最終プレゼンテーション前日には、在チリ日本大使館の協力を得て、日本地震工学会及びJNTO、仙台市によるジャパン・ナイトを在チリ日本大使公邸にて開催しました。ジャパン・ナイトでは、各国代表に対し、和食や茶道、和太鼓など日本文化を堪能する機会を設け、開催地としての日本と仙台市の魅力をPRしました。

【問い合わせ先】

日本地震工学会事務局

・住所:〒108-0014 東京都港区芝5-26-20

・電話:03-5730-2831 FAX:03-5730-2830 ・メール:office@general.jaee.gr.jp

・担当者名:吹野 日本地震工学会ホームページ <http://www.jaee.gr.jp/>

- ◆第16回世界地震工学会議を主催した「チリ地震工学会」の会長(左)から、会議のシンボルの彫像を受け取る「日本地震工学会」の目黒公郎会長(右) (現地時間1月13日 チリ・サンチャゴ)



- ◆第16回世界地震工学会議の開会式 (現地時間 1月9日 チリ・サンチャゴ)



- ◆第16回世界地震工学会議の開会式 (現地時間1月9日 チリ・サンチャゴ)



※写真のデータが必要な場合は、日本地震工学会事務局にお問い合わせください。